

# 衆議院農林水産委員会ニュース

【第198回国会】平成31年3月14日（木）、第3回の委員会が開かれました。

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件

・吉川農林水産大臣、佐藤外務副大臣、小里農林水産副大臣、濱村農林水産大臣政務官、阿達国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）佐々木隆博君（立憲）、亀井亜紀子君（立憲）、緑川貴士君（国民）、近藤和也君（国民）、森夏枝君（維新）、福山守君（自民）、稲津久君（公明）、田村貴昭君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 佐々木隆博君（立憲）

- （1） 「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律案」関係  
ア 市町村のアイヌ施策推進地域計画作成時にアイヌの人々の参加を保障する必要性  
イ 林産物の採取に関する特例及び内水面におけるさけの採捕に関する適切な配慮についての農林水産省の役割
- （2） 豚コレラ関係  
ア 昨年の発生時における初動対応に対する農林水産大臣の見解  
イ 飼養豚の衛生管理の高位平準化と野生イノシシへの経口ワクチン投与の関係に対する農林水産副大臣の見解
- （3） 和牛の遺伝資源の流通実態及び流出事件に対する農林水産省の見解
- （4） CPTPP協定等の発効、日米物品貿易協定（TAG）交渉開始を踏まえ、影響試算及び「総合的なTPP等関連政策大綱」を見直す必要性
- （5） 食料・農業・農村基本計画の見直しの方向性について農林水産大臣の見解
- （6） 戸別所得補償制度についての議論、食料安保と経済連携との関係の整理を含め、食料・農業・農村基本計画の見直しの議論を早期に開始すべきとの意見に対する農林水産大臣の見解

### 亀井亜紀子君（立憲）

- （1） 水産資源の減少の原因を乱獲とすることへの農林水産大臣の見解
- （2） TAC制度が機能しない理由
- （3） 沿岸漁業をTAC制度の対象外とする必要性
- （4） 北朝鮮漁船の我が国への漂着の原因及び北朝鮮による中国への漁業権の売却の実態
- （5） 海上保安庁の大型巡視船の建造・配備の見込み
- （6） 養殖業の振興の方向性及び養殖業への企業参入の予定事例

### 緑川貴士君（国民）

輸入牛肉に係るセーフガード（SG）関係

- ア 2月の冷凍牛肉輸入量及びSG発動の見通し
- イ 次年度当初の輸入量増加の見込みと対策
- ウ 過去のSG発動が第一・四半期の輸入急増を受けたものであることを踏まえた対応の必要性
- エ CPTPP協定等の発効に伴う複雑なSGの仕組みによる現場の負担状況
- オ SGの発動基準の在り方がその機動的発動に与える影響についての農林水産大臣の認識
- カ 発動基準数量を固定化すべきとの意見に対する農林水産大臣の見解

**近藤和也君（国民）**

検疫体制に係る検疫探知犬関係

- ア 国際空港等における検疫体制の現状
- イ 検疫探知犬が配備されている郵便局における探知体制の実態
- ウ 麻薬探知犬の導入及び拡充に関する経緯
- エ 検疫探知犬の増頭に係る問題に対する農林水産大臣の見解

**森夏枝君（維新）**

(1) 就農者支援関係

- ア 新規就農者及び第三者継承に対する支援
- イ 親元就農に対する支援

(2) 福島県産農林水産物の風評被害対策関係

- ア 水産業及び水産加工業の復興状況
- イ 福島県産米の流通の現状認識及び今後の対策
- ウ 諸外国・地域による輸入規制への対策

**福山守君（自民）**

和牛遺伝資源の流通管理関係

- ア 和牛遺伝資源を国外に持ち出そうとした事件に対する認識及び対応
- イ 流出防止のための法整備がなされていないことに対する認識
- ウ トレーサビリティ制度の導入についての見解
- エ 過去の和牛遺伝資源の輸出の状況
- オ 家畜の遺伝資源の知的財産としての保護・活用の在り方
- カ 和牛遺伝資源の保護に対する農林水産副大臣の決意

**稲津久君（公明）**

- (1) 水産改革の実施に当たって漁業者の意見を十分聴くことの必要性
- (2) アキサケの来遊数の状況に対する認識及び今後の対応
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構が実施する「さけ・ますふ化放流事業のあり方に関する関係者による検討会」における議論の視点
- (4) 生食用サーモンの大規模養殖事業に対する認識及び評価

**田村貴昭君（共産）**

豚コレラ関係

- ア 不十分な検疫体制によりウイルスが侵入した事実に対する認識及び侵入防止が政府の責務であることの確認
- イ 「飼養衛生管理基準を守れば発生しない」、「飼養衛生管理基準が守られていればここまでの感染拡大はなかった」と農林水産副大臣が発言したとする報道に関する説明
- ウ 飼養衛生管理基準が守られていないために感染が防げないという立場に立つことへの懸念
- エ 感染原因が特定されていないことに対する見解

オ 国際郵便物及び国際宅配物に対する検疫の在り方

2 農業用ため池の管理及び保全に関する法律案（内閣提出第 29 号）

- ・吉川農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。